

地域間交流・観光交流等内外交通の推進

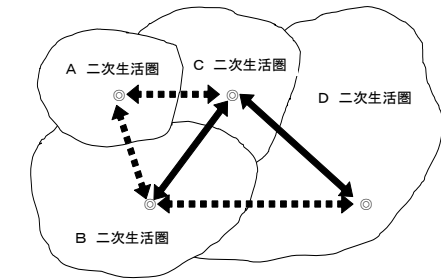
～住民生活の利便性向上、地域経済の活性化等に資する地域間交流を支援する道路整備～

(1) 指標の動向

■隣接する地域の中心の都市間が改良済みの国道で連絡されている割合

平成18年度は、二次生活圏の中心都市14市に関連する7つの地域間交流ルートの整備を完了したことにより、「隣接する地域の中心の都市間が改良済みの国道で連絡されている割合」は平成14年度の72%から75%に向上した。

その結果、地域を結ぶルートの走行性、安定性が高められ、加えて、住民生活や観光交通等の利便性の向上が図られた。



※対象ルートは二次生活圏間の最短ルート

○ 二次生活圏中心都市
 道路改良済みルート
 道路未改良ルート

上図の場合、交流ルートの確保率40%
 全5ルート中、2ルート確保

(2) 達成度報告と業績計画

■新たに7つの地域間交流ルートを整備

平成18年度は、新たに7ルートの「地域間交流ルート」の整備を完了する目標に対し、7ルートの整備を完了し、着実に整備は進んでいる。

■平成19年度も引き続き地域間交流等の促進を支援

平成19年度は、新たに11ルートの「地域間交流ルート」について整備を完了する。

(3) 5カ年の達成見込みについて

平成19年度は新たに11ルートの「地域間交流ルート」について整備を完了することにより、平成19年度目標値である77%を達成する見込みである。

H14	H17	H18	H18	H19	H19
実績	実績	実績	目標	見込み	目標
72%	74%	75%	76%	77%	77%

東北地方での整備事例（平成18年度）

■整備効果

一般国道283号仙人峠道路の開通により、狭隘なトンネルや急勾配・急カーブが連続する未改良区間が解消され、安全で安心な通行が可能となった。

地域間の時間と距離の短縮によって、出産医療施設の無い遠野市から県立釜石病院までの通院時間が短縮し、道路線形の改善により妊婦への負担も軽減され、地域医療に対する支援も図られた。

釜石港と内陸部との物流が効率化・迅速化されるほか、新たに夜間高速バス路線が新設されるなど、より一層、地域の経済・産業の活性化や地域間交流・連携の促進が期待される。



整備前
大型車のすれ違いが困難な仙人峠トンネル

整備後
急勾配・急カーブが連続する国道283号



整備後
安全で安心な道路に！！

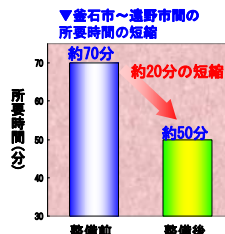
【新設ルート】
 ○大槌～釜石～東京
 約620km 9時間40分
 ○釜石～東京
 約600km 9時間10分



地域間交流ルートの整備により
 ○安全・安心な道路に
 ○地域医療へ支援
 ○釜石港発着の陸上輸送の向上
 ○地域間交流や連携の促進

遠野市役所
 遠野市
 釜石市
 釜石病院
 釜石港
 釜石市甲子
 至大船渡

遠野市上郷
 上郷道路 L=3.4km
 仙人峠道路 L=18.4km



▼釜石市～遠野市間の所要時間の短縮

約70分
 約20分の短縮！
 約50分

整備前
 整備後



【現行ルート】
 釜石～気仙沼～東京
 約570km
 9時間30分

▲新たに都市間バスの運行路線が新設

担当：道路局 国道・防災課